

2021年3月期 決算説明資料

2021年5月10日

日本システムウェア株式会社
取締役 執行役員常務 須賀 譲

1. 2021年3月期決算概況
2. 2022年3月期計画
3. 資本政策ならびに環境・社会活動

1. 2021年3月期決算概況

連結業績概要

By Systemware

(単位:百万円)

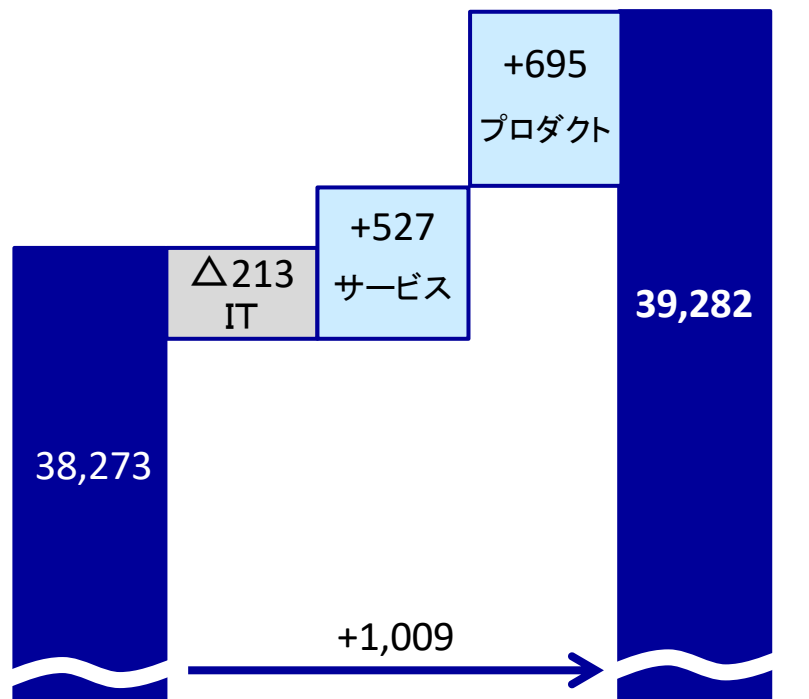
	2021年3月期 実績	計画比		前年同期比		計画	2020年3月期 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	39,282	+782	+2.0%	+1,009	+2.6%	38,500	38,273
営業利益	4,197	+697	+19.9%	+337	+8.7%	3,500	3,860
同率	10.7%	+1.6p	/	+0.6p	/	9.1%	10.1%
経常利益	4,240	+700	+19.8%	+342	+8.8%	3,540	3,898
同率	10.8%	+1.6p	/	+0.6p	/	9.2%	10.2%
当期純利益	2,765	+365	+15.2%	+97	+3.6%	2,400	2,668
同率	7.0%	+0.8p	/	+0.0p	/	6.2%	7.0%
受注高	39,934	/		+1,390	+3.6%	/	
受注残高	15,331			+652	+4.4%		

▶ 売上、利益ともに計画達成し、9期連続 増収増益

売上高・利益の増減要因(前年同期)

(単位:百万円)

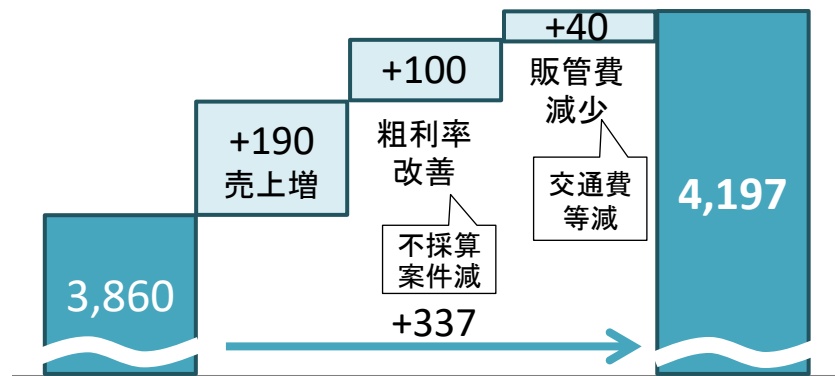
● 売上高



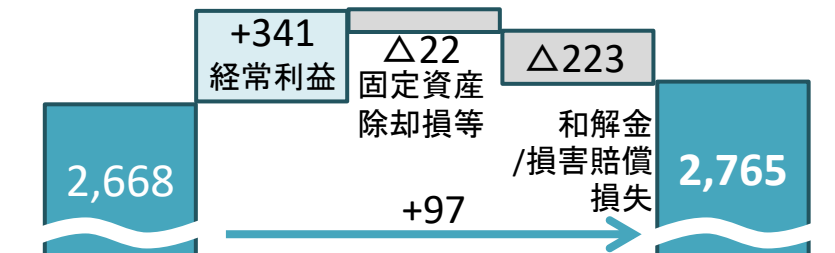
2020年3月期

2021年3月期

● 営業利益



● 当期純利益



2020年3月期

2021年3月期

ITソリューションセグメント 概況(1)

(単位:百万円)

	2021年3月期 実績	計画比		前年同期比		計画	2020年3月期 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	13,202	+302	+2.3%	△213	△1.6%	12,900	13,415
ビジネスソリューション	4,086	/		△688	△14.4%	/	
金融・公共ソリューション	6,447			+69	+1.1%		
システム機器販売	2,669			+406	+17.9%		
営業利益	1,298	+248	+23.6%	+92	+7.7%	1,050	1,205
同率	9.8%	+1.7p	/		+0.8p	8.1%	9.0%
受注高	13,083	/			△115	△0.9%	/
受注残高	6,061			△119	△1.9%	13,198	
							6,181

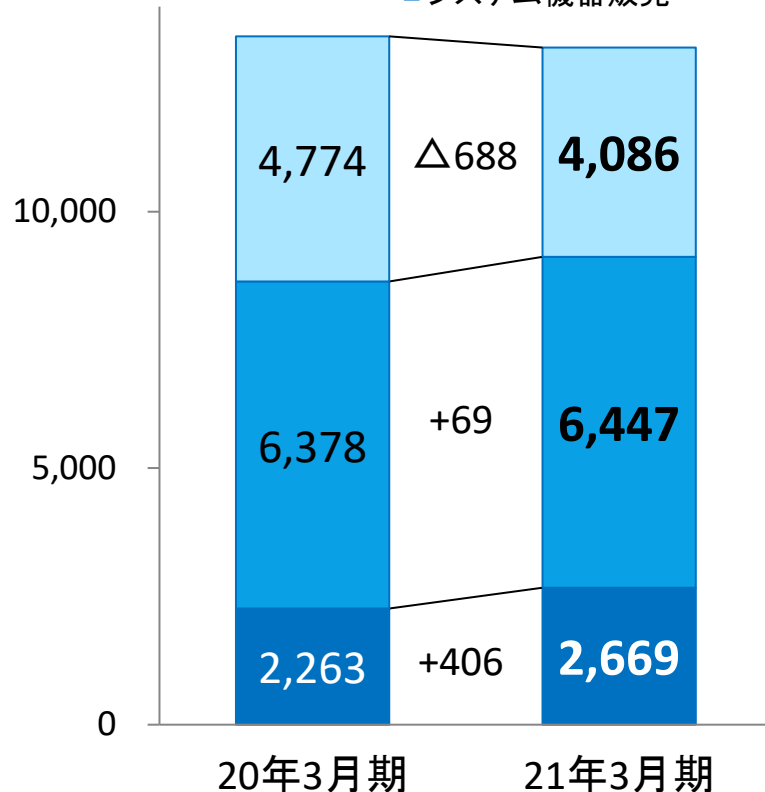
- 売上は、一部開発案件の谷間、前期不採算案件による機会損失等により、減収
- 利益は、不採算案件の減少などにより、増益

ITソリューションセグメント 概況(2)

【売上高】

(単位:百万円)

- ビジネスソリューション
- 金融・公共ソリューション
- システム機器販売



【ビジネスソリューション】

- 製造業向けは、パッケージ関連や既存顧客案件を中心に伸長
- 小売業、物流業向けにおける前期不採算案件の影響による機会損失、その他一部案件が開発の谷間に当たることにより、減少

【金融・公共ソリューション】

- 官公庁・団体向けは、前期大型案件の反動により、減少
- 金融・保険業向けは、システム移行案件や車保関連システム開発などが伸長

【システム機器販売】

- 小売業向けのセミセルフレジ関連が増加

サービスソリューションセグメント 概況(1)

(単位:百万円)

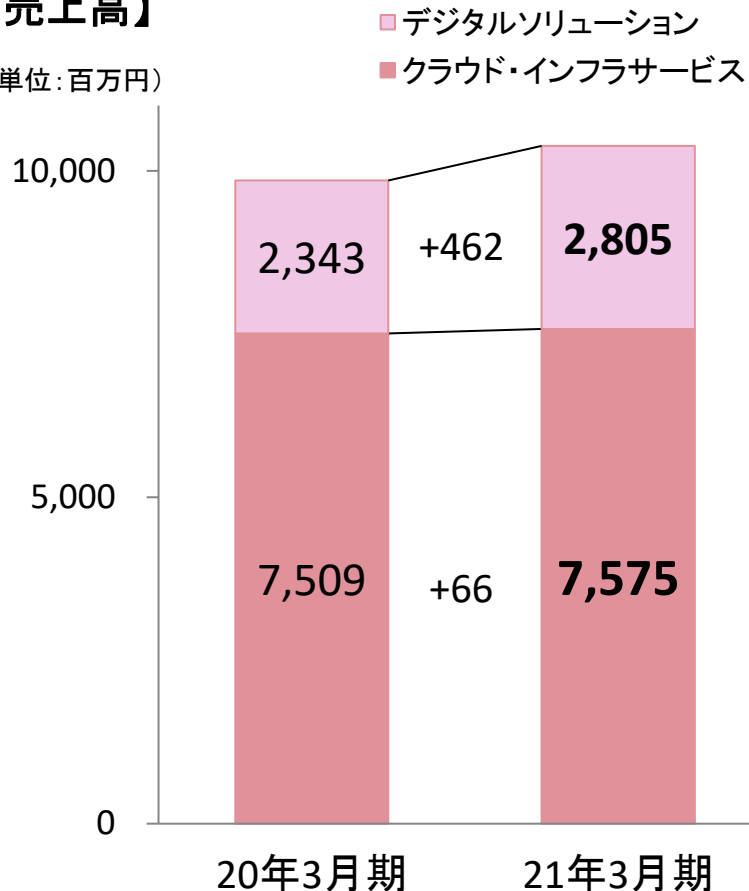
	2021年3月期 実績	計画比		前年同期比		計画	2020年3月期 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	10,380	+180	+1.8%	+527	+5.4%	10,200	9,853
デジタルソリューション	2,805	/		+462	+19.7%	/	
クラウド・インフラサービス	7,575			+66	+0.9%		
営業利益	564	+14	+2.6%	△66	△10.5%	550	630
同率	5.4%	+0.0p	/		△1.0p	5.4%	6.4%
受注高	10,840	/		+806	+8.0%	/	
受注残高	4,989			+459	+10.1%		

- 売上は、IoT & AIやRealWearなど新サービスを中心にデジタルソリューション事業が拡大
- 利益は、事業拡大に向けた体制強化などにより、減益

サービスソリューションセグメント 概況(2)

【売上高】

(単位:百万円)



【デジタルソリューション】

- IoT・AI
IoTシステム構築案件を中心に拡大したほか、産業用スマートグラスRealWearが好調推移
- WEB・EC
前期大型案件の反動あるも、既存顧客の深耕等により、事業規模維持

【クラウド・インフラサービス】

- クラウド
パブリッククラウド移行案件などが増加
- インフラ・DC
ハウジング案件やインフラ構築案件が減少
- その他サービス
データ連携サービスなどが堅調推移

プロダクトソリューションセグメント 概況(1)

(単位:百万円)

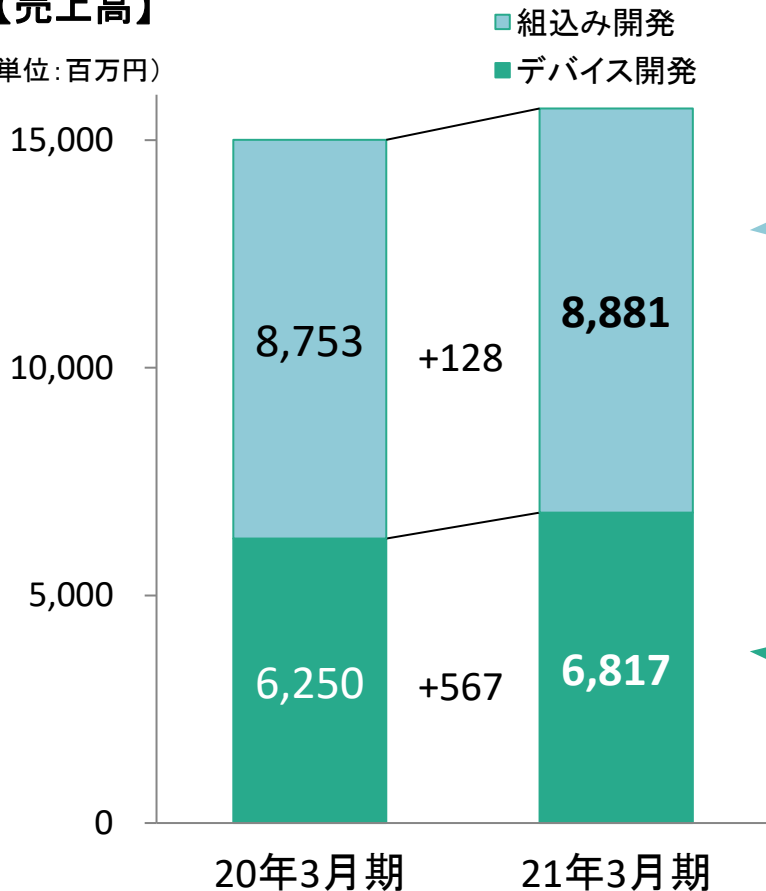
	2021年3月期 実績	計画比		前年同期比		計画	2020年3月期 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	15,699	+299	+1.9%	+695	+4.6%	15,400	15,004
組込み開発	8,881	/		+128	+1.5%	/	
デバイス開発	6,817			+567	+9.1%		
営業利益	2,335	+435	+22.9%	+312	+15.4%	1,900	2,023
同率	14.9%	+2.6p	/	+1.4p	/	12.3%	13.5%
受注高	16,010	/		+698	+4.6%	/	
受注残高	4,280			+311	+7.9%		

- 売上は、半導体市場の伸びを背景にデバイス開発事業を中心に堅調に推移し、増収
- 利益は、増収に伴う利益増などにより、増益

プロダクトソリューションセグメント 概況(2)

【売上高】

(単位:百万円)



【組込み開発】

●オートモーティブ

自動車および非自動車向けCASE、ADAS、モビリティ関連などが増加

●通信

5G/ローカル5G関連の開発・評価が拡大

●モバイル

アプリ開発は増加も、端末評価業務が減少

●設備機器

医療機器関連が減少も、新規顧客案件・決済端末向け開発などが伸長し、横ばい

【デバイス開発】

半導体市場の伸びを背景に開発体制を拡大し、画像処理分野を中心に増加

※CASE : Connected(コネクテッド)、Autonomous(自動化)、Shared(シェアリング)、Electric(電動化)の4つの頭文字をとった車の次世代技術や新サービスの造語
※ADAS(Advanced driver-assistance systems): 先進運転支援システム。車の衝突検知や位置判定などドライバーの運転操作を支援するシステムの総称。

連結貸借対照表

Systemware

2020年3月期末



総資産 30,516百万円

2021年3月期末



総資産 32,660百万円

主な増減要因

【資産】

現金及び預金の増加	+895
受取手形、売掛金の増加	+806
商品の増加	+510

【負債】

工事損失引当金の減少	△201
------------	------

【純資産】

当期純利益	+2,765
配当金の支払	△521

	2020年3月期末	2021年3月期末	前期末比
自己資本比率	70.0%	72.3%	+2.3p
自己資本当期純利益率	13.2%	12.3%	△0.9p
総資産経常利益率	13.3%	13.4%	+0.1p

Humanware By Systemware

2. 2022年3月期計画

外部環境

- 経済活動の再開が進み、一部では持ち直しの動きが見られるものの、度重なる感染症の拡大に伴い、依然として不透明な状況
- デジタル変革(DX)や生産性改善目的のIT投資に加え、コロナ禍において急速に浸透した新しい働き方や事業活動に関連するサービスやソリューション需要の高まり

重点ポイント

- 小売業、物流業、製造業向けを中心としたDX需要を的確に捉え、お客様のバリューチェーンも含めた新しいソリューションの提供
- 通信、設備、半導体分野における5G/L5G関連の対応領域拡大
- デバイス開発事業は半導体の供給不足や工場火災などによる設計業務への影響を慎重に見極め、よりスピード感を持った展開

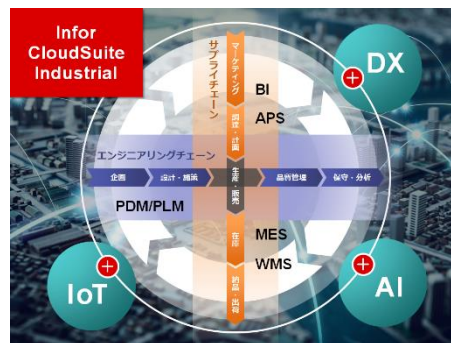
(単位:百万円)

	2022年3月期 計画	前年同期比		2021年3月期 実績
		増減額	増減率	
売上高	42,000	+2,718	+6.9%	39,282
営業利益	4,300	+102	+2.4%	4,197
同率	10.2%	△0.5p		10.7%
経常利益	4,340	+100	+2.4%	4,240
同率	10.3%	△0.5p		10.8%
当期純利益	2,950	+185	+6.7%	2,765
同率	7.0%	+0.1p		7.0%

- 売上420億の達成、ならびに営業利益率10%台を維持
- 戦略投資を継続し、さらなる成長に向け経営基盤の強化に取り組む

ITソリューション 重点施策

- 流通業向けフル/セミセルフレジ、電子棚札ソリューションの展開
- 製造業向けERPの拡販およびPLM・PDM導入コンサルの推進
- レガシーシステムのモダナイゼーション、マイグレーション対応
- デジタルガバメント案件への参画



流通・小売業



製造業



物流業



金融・保険業



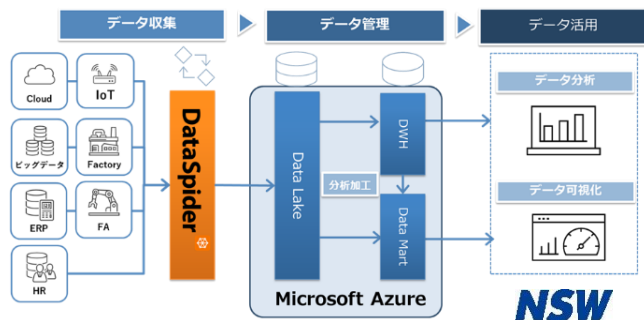
官公庁・団体

■ 目標

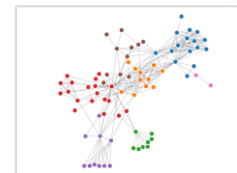
	2022年3月期計画	前期比増減(額/率)	
売上高	14,200	+998	+7.6%
営業利益	1,400	+102	+7.8%
同率	9.9%	+0.1p	-

サービスソリューション 重点施策

- 最新テクノロジーを生かしたDXソリューション、サービスの展開
- データ統合・連携など企業内DXプラットフォーム向けサービス展開
- クラウドネイティブのアプリ開発、メガクラウドのインテグレーションサービスを拡大



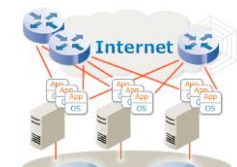
IoT&AI&xR



データ連携・活用



Web&EC



クラウドサービス



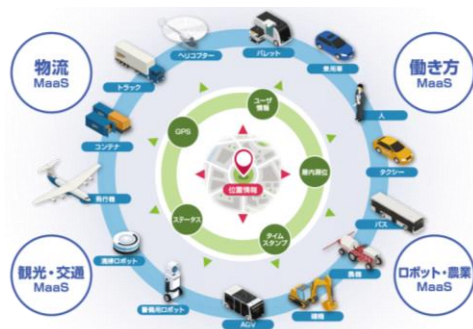
インフラ&DC

目標

	2022年3月期計画	前期比増減(額/率)	
売上高	11,300	+920	+8.9%
営業利益	650	+86	+15.2%
同率	5.8%	+0.4p	-

プロダクトソリューション 重点施策

- 組込み開発の各分野およびデバイス開発における5G、ローカル5G技術の展開
- CASE案件の対応範囲拡大、MaaS (Mobility as a Service) の推進
- 国内外パートナー連携によるLSIデザイン、チップ開発の拡大



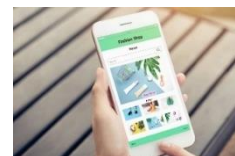
オートモーティブ



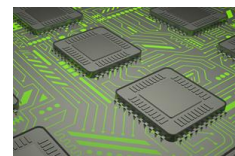
設備・精密機器



通信



モバイル



デバイス開発

■ 目標

	2022年3月期計画	前期比増減(額/率)	
売上高	16,500	+801	+5.1%
営業利益	2,250	△85	△3.7%
同率	13.6%	△0.7p	-

DX関連 実績と注力ポイント

DX FIRST

100億円

約28億円



20年3月期

約40億円



21年3月期

通期計画

22年3月期

- 21年3月期は、IoT/AI関連、5G関連、スマートグラス「RealWear」を中心に規模拡大
- 22年3月期は、業種に特化したIoT/AI関連サービス拡充、およびローカル5G関連の強化により拡大加速を目指す

DX推進の取り組み

DXサービスの創出

機器や利用者の位置、状態を一元管理



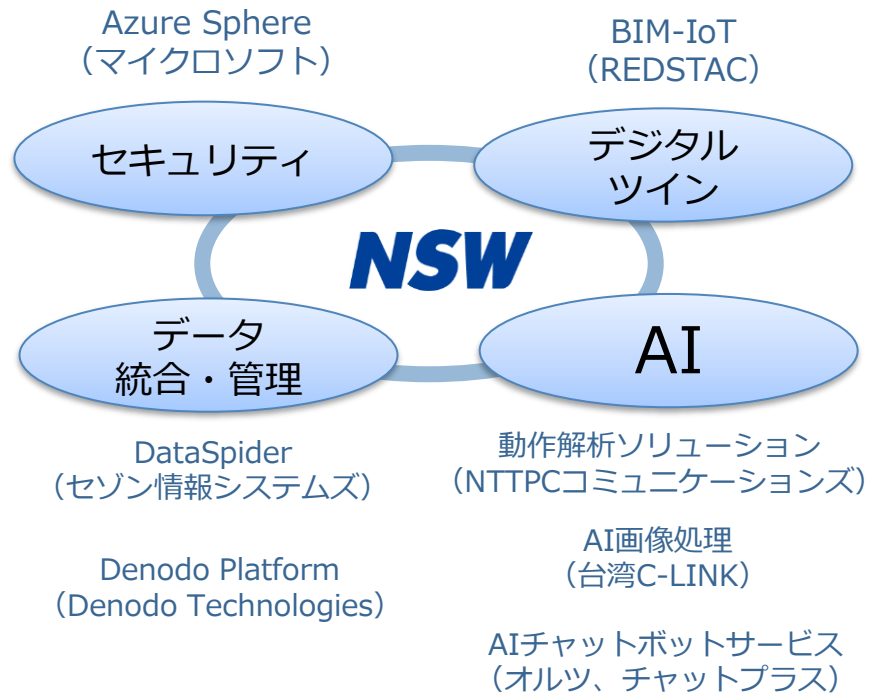
既存ソリューションと
スマートグラス「RealWear」の連携

セル生産支援システム



DXパートナーの拡充

DXパートナーおよび商材の拡充



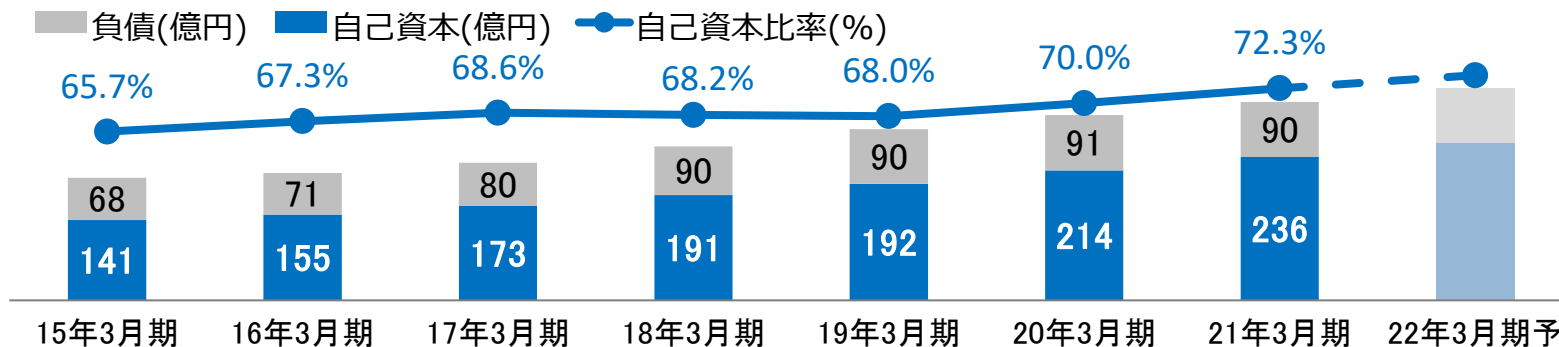
※各社敬称略
※前下期におけるニュースリリースより抜粋

Humanware By Systemware

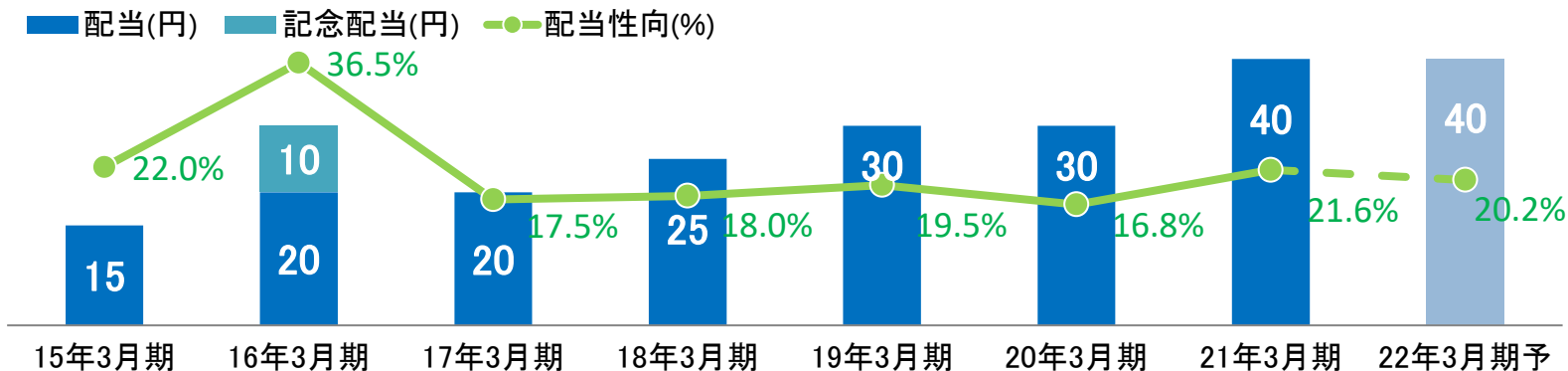
3. 資本政策ならびに環境・社会活動

資本政策と株主還元方針

● 高い自己資本比率を維持



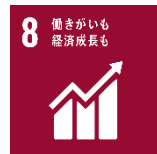
● 安定的な配当を継続



環境・社会活動への取り組み

当社は企業理念「Humanware By Systemware」に基づき、価値あるシステムの提供とともに持続可能な社会の実現、環境保全に資する企業活動を継続的に推進してまいります。

- ITシステム、サービスの提供によるお客様の事業活動、および持続可能な社会への貢献



- データセンターや自社オフィスにおける環境負荷低減、環境保全活動の推進



- スポーツや音楽などへの協賛、清掃、献血等を通じた地域・社会活動



NSW

Humanware By Systemware